

---

JNSA アイデンティティ管理WG主催  
「クロスボーダー時代のアイデンティティ管理セミナー」

# 「認可 (Authorization)」

株式会社 マインド・トゥー・アクション  
中島 浩光

# 認可(Authorization)とは？

定義:

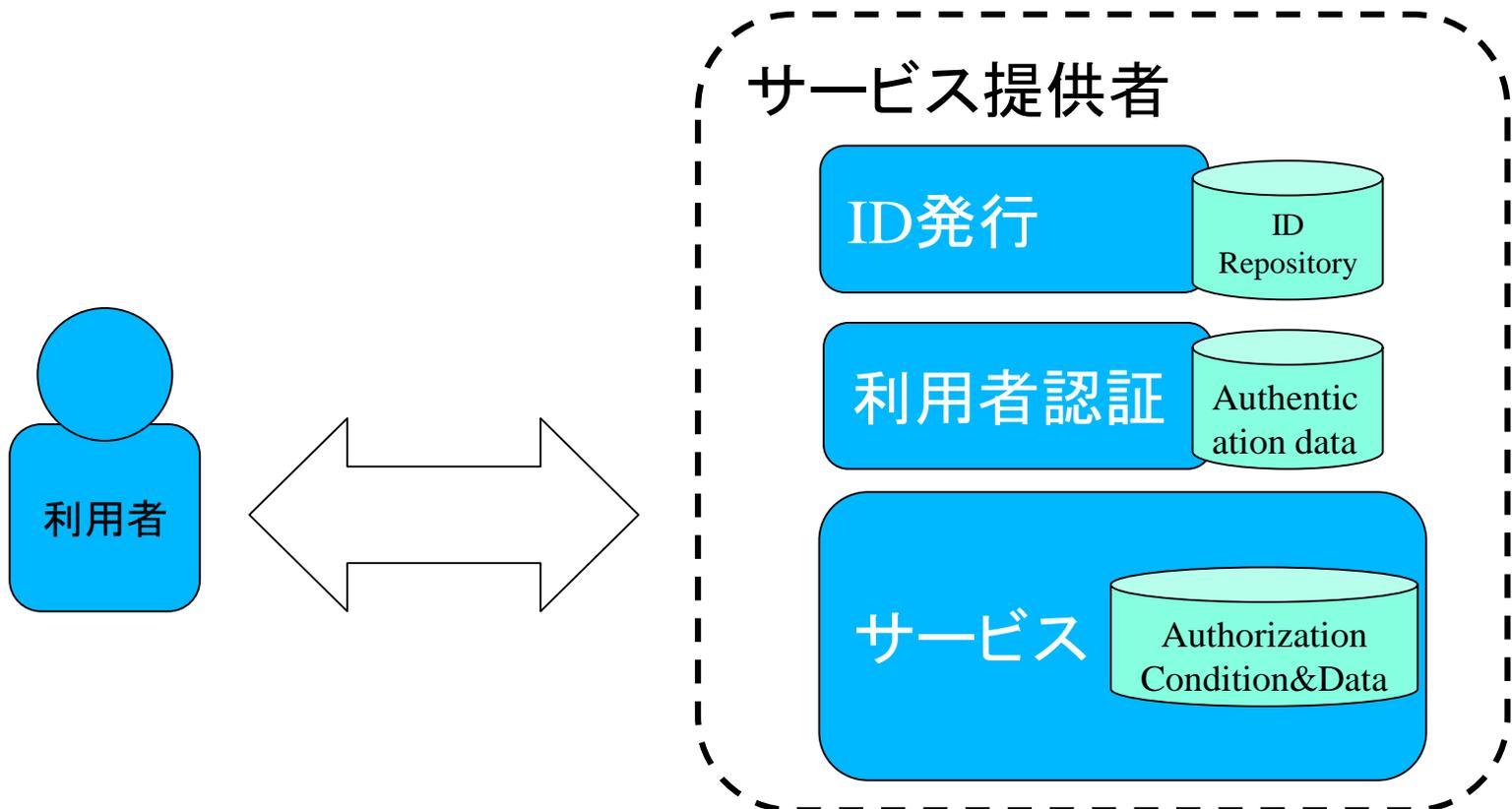
- サービス提供者がサービス利用者に対して、サービス利用時の「利用条件」であり、「サービス提供者が条件を決定」する。

例: ももいろクローバーZファンクラブ「AngelEyes」

- ✓ ファンクラブに登録すると、ファンクラブサイト限定の動画とかのコンテンツが見られます。
  - ✓ サービス利用資格: 会員登録+ファンクラブサイト認証
- ✓ ファンクラブに登録して、かつ顔写真も登録すると、ライブ/イベントのファンクラブ先行販売に応募できます。
  - ✓ ももクロの主催ライブでは、チケットの転売対策としてファンクラブ先行のチケットで入場時に本人顔認証を行っています(NEC様お世話になっております)。
  - ✓ サービス利用資格(先行販売応募): 会員登録+ファンクラブサイト認証+顔写真登録+チケット購入+ライブ参加+顔写真認証
  - ✓ サービス利用資格(ライブ参加時): チケット購入+ライブ参加+会員証+入場時顔写真認証

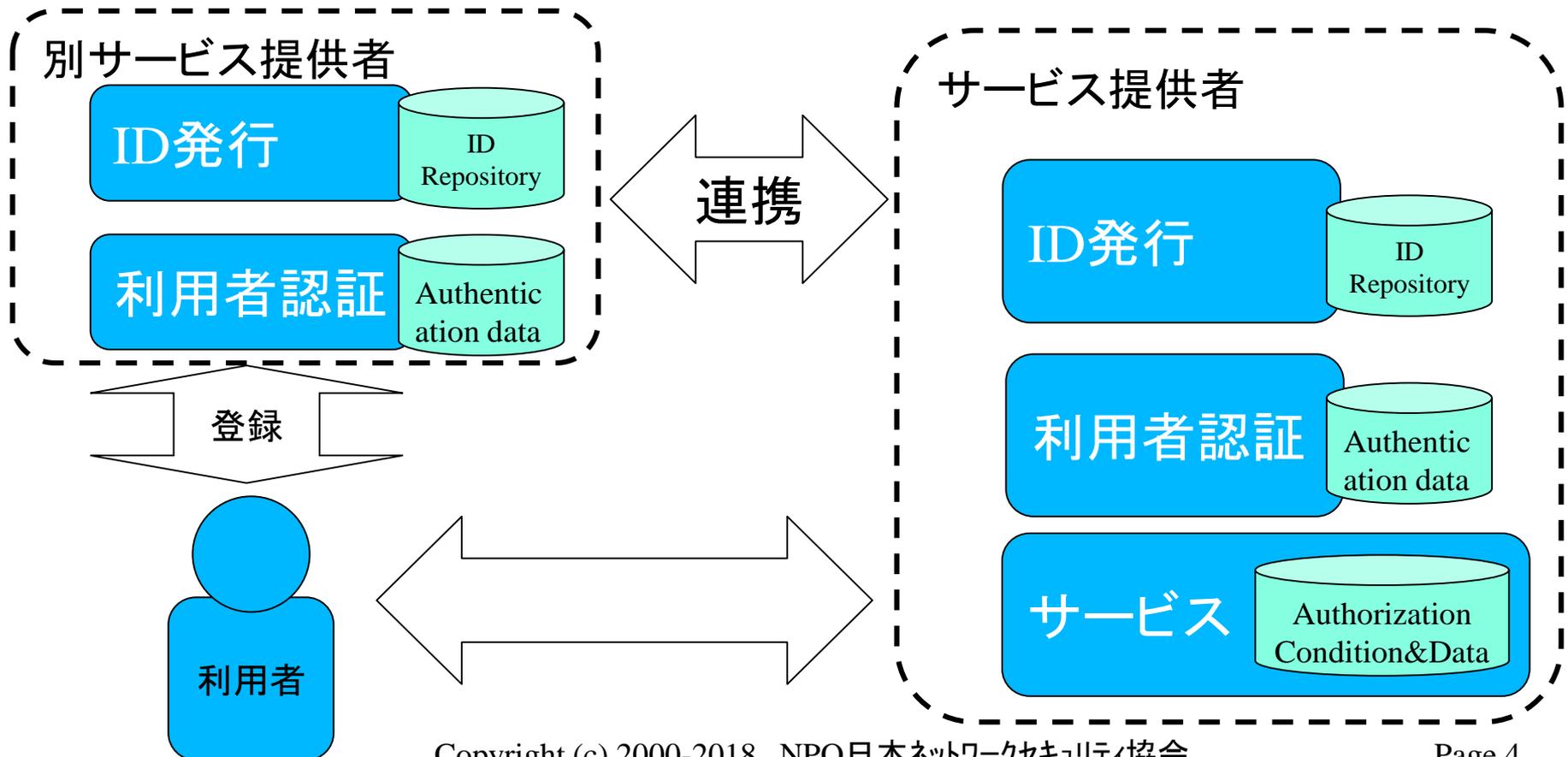
# サービス提供：第一世代

- サービス提供者がID発行も、利用者認証も行う。  
(通常の社内システム)



# サービス提供：第二世代

- サービス提供者がIDの連携、認証の連携を行う  
(ちょっとだけクロスボーダー、「facebookアカウントでログイン」等)



# サービス提供：第三世代？

- サービス提供者がID発行・認証をしない。  
(クロスボーダー?)

